

ルギの重要さは連続鋳造の適用に強いあと押しを与えることになりました：1977年の日本鉄鋼協会のアンケートでは、日本の大手鉄鋼メーカーは1990年に50～58%の連鋳比率が実現するとされていたにもかかわらず、今や1985年以前にも連鋳比率が80%を超えるという予測すら現れています。

このような驚くべき連鋳比率の増加は、品質の要求がもつとも厳しい製品にさえも応じられることによつて可能となつたものであります。こうして、たとえば炭素鋼と低合金鋼のシームレスパイプの製作とかステンレス鋼の平らな圧延品の生産のような分野では、鋼塊鋳造が大

幅に除かれています。

日本鉄鋼業の顕著な業績に関するこれらの報告から考えて、日本鉄鋼協会の講演大会は情報を交換し進歩を比較するのに理想的な舞台を提供しております。

非常に幸いなことに、今ではさらに効果の多い情報交換ができ、より広い視野で比較することを目的として、外国からの寄稿も勧誘されております。

日本鉄鋼協会によつてなし遂げられたきわめて重要な役割に敬意を表し、この機会に第100回講演大会の記念祝典に心からお祝いを申し上げます。

おめでとうございます！

新刊紹介

「鋼の焼入性予測に関する研究」

日本鉄鋼協会・材料研究委員会

鋼の焼入性予測に関する問題は歴史的に古く、多くの人々によつてその予測法が提案されてきた。しかし従来のデータは、不純物や前処理条件が必ずしも明確でなく、実際の鋼には十分適合しない。本委員会は、これらの点に留意してジョミニ試験にて焼入性を調べ、Grossmann法による予測性を検討するとともに、幾つかの式で回帰解析し、これらの結果を比較検討した。本書は当委員会の活動成果をとりまとめた最新の鋼の焼入性予測に関する研究であり、広く皆様に御活用頂きますようお知らせ致します。

1. 内 容

1. 緒 言
2. 試験方法
3. 試験結果
4. 従来の予測法による検討
5. 重回帰解析
6. 特異現象 (1) Fe-C 二元合金の焼入性 (2) Kirkaldy 法による焼入性の予測 (3) Fe-C-Ni 系鋼のジョミニ試験結果に認められた特異性について (4) ジョミニ曲線における異常ピーク (5) 鋼の焼入性におよぼす未溶解炭化物の影響 (6) Fe-C-Mo 系鋼の焼入性におよぼす未溶解炭化物の影響
7. 総 括

付録 文献リスト

2. 価 格 3,500 円 (送料 300円)
3. 申込方法 書名、部数、送付先を明記のうえ、代金を添えて現金書留にてお申込み下さい。
4. 申 込 先 〒100 千代田区大手町 1-9-4
経団連会館 3階 日本鉄鋼協会庶務課 (TEL. 03-279-6021)